

## 松井拓真君（3-5）

主将としてチームを支えた松井拓真君（3-5）は今大会の感想を「結果を出させてよかった。優勝は通過点なので満足せずに本番である夏の大会に向けて力をつけていきたい」と話した。また投手として「決勝は増居に頼ってしまった。次は僕なりに準備をしたい」と課題を話し合った。

## 高村真湖人君（3-8）

レフトの高村真湖人君（3-8）は「決勝では自分たちの野球はできなかつた。しかしそれ以外の試合では昨年の秋季大会の一回戦で負けてから冬に準備してきたことを出すことができた」と今大会を振り返った。また近畿大会に向けて「強豪校と対戦するのが楽しみだ。県外のチームから色々学びたい」と話した。

## 原晟也君（3-8）

ショートの原晟也君（3-8）は「一番の山場は準々決勝の滋賀学園戦だったが、自分たちの形で試合をすることができた。決勝も自分たちの形で勝つことができてよかった」と今大会を振り返った。また「自分たちの目標は夏の大会で優勝することなので、夏へ向けて頑張りたい」と意気込んだ。

## 岩本道徳君（3-5）

サードの岩本道徳君（3-5）は今大会を「自分はあまり活躍できなかつた。まだ実感はないが、みんなが点を守ってくれたから優勝できたのだと思う」と振り返った。近畿大会に向けて「もっとチームに貢献できるよう、バッティングを強化したい。一つひとつ丁寧にやるべきことをやっていこうと思う」と意気込んだ。



優勝旗を受け取る主  
将の松井君

# 春季近畿大会出場



▶優勝を果たし、笑顔の野球部員



▲部員らは観客の手拍子に包まれ  
グラウンドを行進した。

## 選手のコメント掲載

### 辻山知志君（3-6）

ライトの辻山知志君（3-6）は今大会を「しっかりと準備でき、みんなで一試合一試合戦うことができてよかった。しかし決勝ではやるべきことができず、課題もたくさん見つかった」と振り返った。また近畿大会に向けて「県外には強いチームがたくさんあるので、頑張って勝ちたいと思う」とコメントした。

## 太田剛志君（3-6）

センターの太田剛志君（3-6）は今大会を「ピッチャーが頑張ってくれた。失点したときも、焦らず落ち着いて声を掛け合ったことが逆転されなかつた要因だと思う」と振り返った。また近畿大会に向けて「まだできていないところもあるので、細かいミスを修正していきたい」とコメントした。

## 吉本孝祐君（3-4）

ファーストの吉本孝祐君（3-4）は今大会を通して「自分たちの力が出せなかつたが、練習試合で培ってきた力を出すことができたのでよかった」と話した。また近畿大会に向けて「滋賀県大会よりもレベルが高いチームが出場しているので、相手に関係なく滋賀県代表として自分たちの野球をしたい」と意気込んだ。

## 條野正宗君（3-7）

キャッチャーの條野正宗君（3-7）は今大会について「優勝したことは何よりもうれしい。2年生が頑張っていたので3年生が良い刺激をもらえた」と述べた。また近畿大会に向けての意気込みを「全国で戦うために県外チームと何度も練習試合をしてきた。練習試合通り物怖じせずに頑張りたい」と話した。



速報新聞

## キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金龜町4番7号

5月5日に行われた平成29年度春季近畿地区高等学校野球滋賀大会の決勝で本校野球部が草津東高校を破って優勝し、近畿地区大会に出場することが決定した。ここでは大会を通して活躍した選手の今大会を振り返っての感想と近畿大会への意気込みを掲載する。